

13. 設置事例（沼の沢取水堰発電所）

（9）運転状況と維持管理について

＜運転状況について＞

◎ 年間可能発電電力量は114,000kWhですが、令和4年度の年間発電電力量は、発電機の故障により発電停止していた期間があったため、30,350kWhとなり、予定の26%の運転実績となっております。



＜維持管理について＞

- ◎ 13ページ「12. 運転・維持管理のとおり、2回/月の巡視点検を実施しています。
- ◎ 水車発電機等の1回/年の定期点検を10月に実施しております。

14. 北海道企業局の支援制度と設置事例

地域新エネルギー導入アドバイザー制度について



北海道企業局では、市町村や公共性を有する団体を対象に、新エネルギー導入を支援する制度として、【地域新エネルギー導入アドバイザー制度】をご用意しております。

対象としているエネルギーは水力のほか、風力・太陽光・バイオマス発電導入のための技術・経営についてアドバイスをを行い、“あなたのまちの取組み”を支援いたします。

相談に関する費用は無料となっておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

(<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kg/htd/adviser.html>)

支援制度の実績について

平成17年度から令和4年度までの間に、15市42町4村7団体より【地域新エネルギー導入アドバイザー制度】をご利用いただきました。

最近の事例（令和4年度）では、導入方法の提案等に3件、情報提供について7件のお問い合わせをいただいております。

これまでの主なご利用内容は、次のとおりです。

- 小水力発電導入の可能性の検討・現地調査・提案
- 小水力発電導入事例の情報提供
- 流量調査機器の貸出しと調査支援
- 建設工事に関するアドバイス
- 市町村における新エネルギーに関する協議会への参加
- 完成後の保守管理に関するアドバイス・・・・・・・・・・など

14. 北海道企業局の支援制度と設置事例

地域新エネルギー導入アドバイザー制度の活用例

実際に上記制度を活用して小水力発電装置を導入した、美幌町、弟子屈町、津別町の事例についてご紹介します。

美幌町の例

- 設置場所 : 日並浄水場（網走郡美幌町字日並）
- 出力 : 12.6 kW
- 水量 : 0.1 m³/s
- 有効落差 : 20.2 m
- 運転開始日 : 平成26年5月
- 事業費 : 約63,000千円
- 制度活用内容
 - 平成22年7月
上水道設備へのマイクロ水力発電導入検討及びメンテナンスについて助言
 - 平成22年9月
藻岩浄水場（札幌市中央区伏見）の施設見学に同行
 - 平成23年2月
環境省の補助事業について情報提供
 - 平成23年5月
発電機に関する技術情報の提供



14. 北海道企業局の支援制度と設置事例

弟子屈町の例

- 設置場所 : 水郷緑地公園 (川上郡弟子屈町美里)
- 出力 : 約20W
- 特記事項 : 電気事業法の対象外
- 運転開始日 : 平成30年4月
- 制度活用内容
 - 平成25年7月
公園内の水車を活用した小水力発電の導入について助言
 - 平成25年8月
現地にて流量調査を実施し、測定結果を報告
 - 平成26~28年度
発電した電気の活用方法のアドバイスや情報交換
 - 平成29年5月
電気事業法に関する情報提供



←改修前



流量測定→

14. 北海道企業局の支援制度と設置事例

津別町の例

- 設置場所 : 上里浄水場 (網走郡津別町字上里)
 - 出力 : 9.8kW
 - 水量 : 0.058m³/s
 - 有効落差 : 29m
 - 運転開始 : 令和4年3月
 - 事業費 : 約68,000千円
 - 制度活用内容
 - 令和元年12月
電力会社からの受電契約に関して、沼の沢取水堰発電所建設時の事例を
情報提供
 - 令和2年5月
水力発電設備導入に関連する補助事業についての情報提供
 - 活用した道の助成制度
 - 令和2年度
新エネルギー設計支援事業費補助金* (経済部 環境・エネルギー課)
 - 令和3年度
新エネルギー設備導入支援事業費補助金* (経済部 環境・エネルギー課)
- *本補助金は、当局の電気事業の収益の一部を活用しています。

